

施設名	焼津海岸防波石堤								
所在地	静岡県 焼津市								
管理者等	静岡県								
施設種類・分野	海岸								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>明治31年(1898年)の暴風雨の被害は大きく、静岡市などへの移住の話が出るほどでした。そこで立ち上がったのが、山口平右衛門を中心とする堤防委員会で、永久的な石堤防の建設を県に働きかけて、明治32年(1899年)石造りの大防潮堤の建設が始まりました。高さ7から8メートル、上部の幅3.5メートルの堤防が段階的に造られて、明治40年(1907年)には新屋から鰯ヶ島まで総延長1,048メートルの石造り防潮堤が完成しました。</p>								
築造時期	明治後期				時期詳細	明治40年(1907年)			
関連人物	山口平右衛門								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	-								
歴史的な遺産等の指定の有無等	-	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	静岡県の近代化遺産 静岡県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書								
管理者等のHP (URL等)	静岡県HP http://www.fujinokunibunkashigen.net/resouce/main.php?search=area&mode=detail&article=1700								

